

# 平成25年4月1日付け 組織改正と人事異動

＜解禁＞

テレビ・ラジオ	3月30日(土)17:00
インターネット	3月31日(日)0:00
新聞	3月31日(日)朝刊

平成25年3月29日  
佐賀県 経営支援本部

# 組織改正

総合計画2011に掲げた施策を推進するとともに、喫緊の課題に対応するために必要な体制整備を行います。

1 企業立地統括監の設置

2 歯科医療総括監の設置

3 防災部門の再編

4 情報発信に関する施策の推進体制の強化

5 有田焼400年事業推進チームの設置



# 「企業立地統括監」の設置

農林水産商工本部内に「企業立地統括監（本部長級）」を設置します。

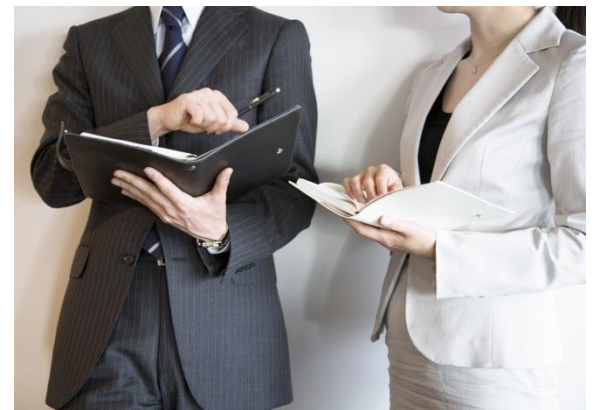
## □ 農林水産商工本部

### 企業立地統括監【新設】

#### 企業立地課

#### 物件調査担当【新設】

- ・ 企業立地統括監（本部長級）を新たに設置し、企業誘致の推進体制の強化を図ります。
- ・ 企業立地課に物件調査担当を新たに設置し、企業ニーズに合う物件の紹介を行うなど、誘致体制の強化を図ります。



# 「歯科医療総括監」の設置

健康福祉本部内に「歯科医療総括監（副本部長級）」を設置します。

## □ 健康福祉本部

### 歯科医療総括監【新設】

※歯科医師



- ・ 歯科医療総括監（副本部長級）を新たに設置し、県民の生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進します。
- ・ 歯科医療総括監は、健康福祉本部内に新たに設置する口腔保健支援センター長を兼ねます。

### 口腔保健支援センター

- 歯科口腔保健に関する知識等の普及啓発
- 障害者等が定期的に歯科検診を受けるための施策
- 歯科疾患の予防のための措置
- 口腔の健康に関する調査及び研究の推進 等

## 防災部門の再編

「消防防災課」を再編し、防災部門の再編・強化を図ります。

□ 防災企画グループ

□ 消防防災課

国民保護・防災担当

消防担当

防災情報担当

保安担当



□ 消防防災課

防災企画担当

災害対策・国民保護担当

地域防災・消防力向上担当

防災施設担当

保安担当

広域避難計画の見直しや、  
オフサイトセンターの充  
実強化の業務を行う職員  
を2名増員

- ・ 地域防災計画を修正するという、所期の目的は概ね達成したため、企画部門を縮小し、原子力災害の避難計画の調整などを行う、実動体制の強化を図ります。



# 東京エリアでの情報発信に関する施策の推進体制の強化

東京エリアでの情報発信活動を専門的に行う職員を新たに配置します。

## □ 統括本部 危機管理・広報課

情報発信プロジェクト担当（係長1名、担当3名）

- 消費者が好きな企業・ブランド、イベントやショップ、メディアなどとコラボレーションして、お客様の生活のシーンの中にこちらから顔を出していくような情報発信を行うことで、佐賀県のいいところ、素晴らしいものに触れていただく機会をつくります。

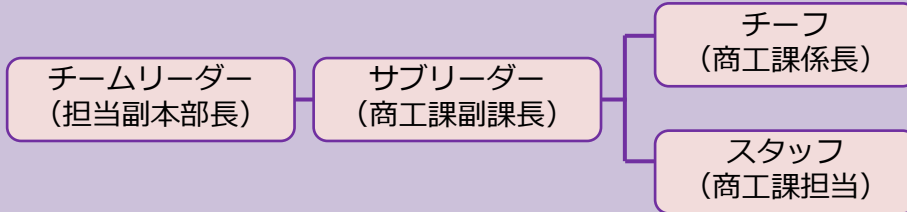


# 「有田焼400年事業推進チーム」の設置

農林水産商工本部内に「有田焼400年事業推進チーム」を設置します。

## □ 農林水産商工本部

### ■ 有田焼400年事業推進チーム 4名



■ サポートイング・グループ  
庁内関係課 11課

■ アドバイザリー・ボード  
外部の専門家・有識者



- ・ 専任の副本部長をチームリーダーとする「有田焼400年事業推進チーム」を新たに設置し、平成25年9月までに、事業に関する「佐賀県プラン案」を策定します。

## 佐賀県プランの方向性

- 有田焼のイノベーション
- 有田焼のリ・ブランディング
- 世界で活躍する人材の集積・育成

# 人事異動

---

1 人事異動の概要

2 女性職員の登用

3 新規採用者数の大幅増

4 多様な人材の確保





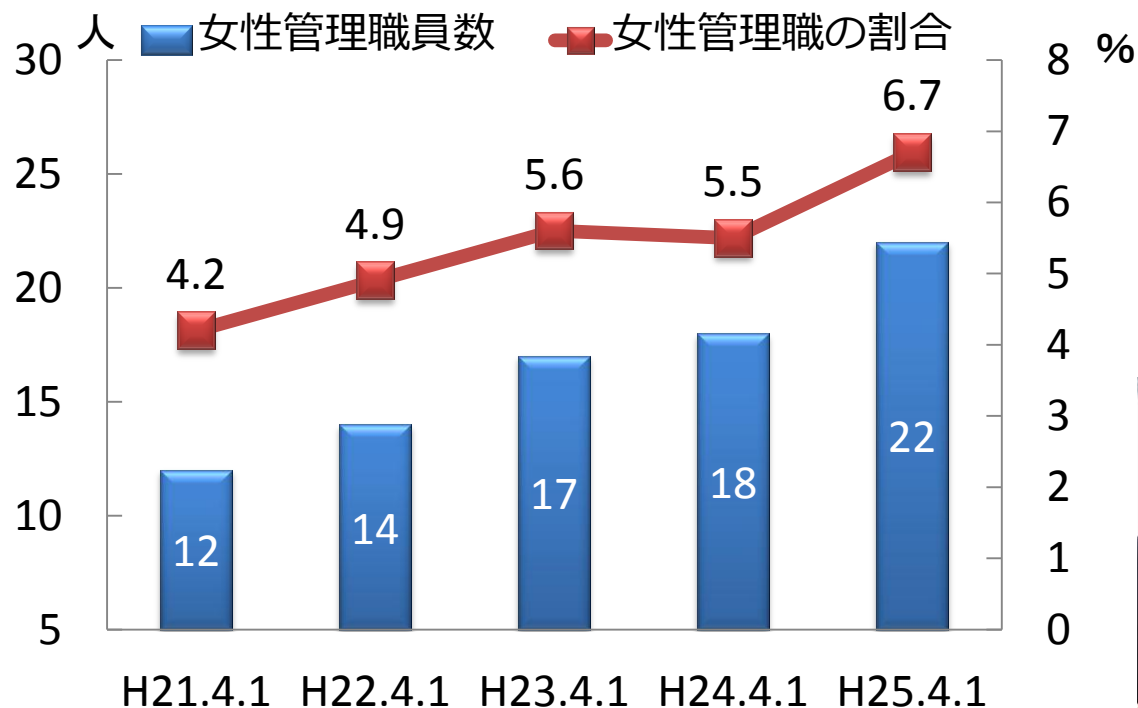
## 人事異動の概要

異動者の総数は1,060人

年 度	異動者総数	(実質異動者数)
H25.4.1	1,060人	( 943人)
H24.4.1	1,181人	( 946人)
H23.4.1	1,191人	( 991人)
H22.4.1	1,323人	(1,080人)
H21.4.1	1,298人	(1,020人)

## 女性職員の登用

女性管理職の登用を推進し、女性管理職員の割合を増加  
管理職への新規登用者数 7人



### 【今回配置した職の例】

- ・西松浦農業改良普及センター所長
- ・くらしの安全安心課長



## 新規採用者数の大幅増

平成25年4月1日付け新規採用者数 **132人**  
(大卒程度 115人 高卒程度 17人)

- ※2年連続で知事部局採用者数が100人を超える
- ※今年度から、学校事務の採用を知事部局で一元化しているため、昨年度からさらに29人増加（学校事務を除くと7人増加）

年 度	新規採用者数
H25 (今回)	132人
H24	103人
H23	51人
H22	41人
H21	42人

うち22名は  
学校事務へ

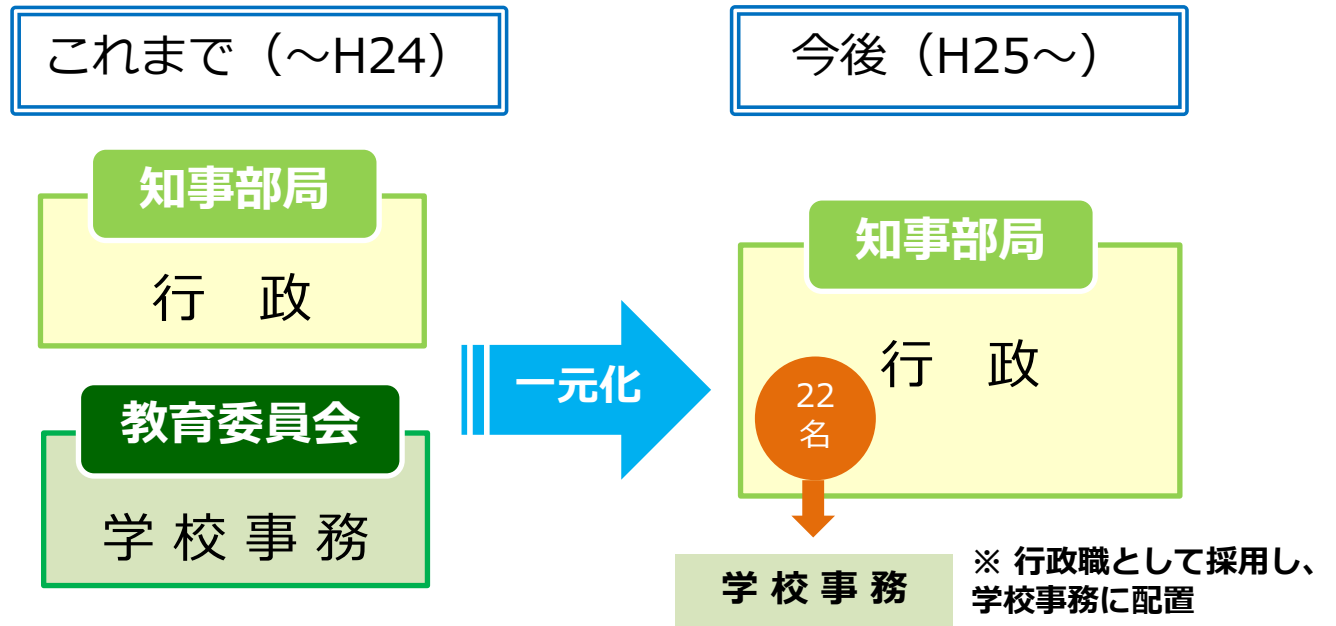
18年ぶり  
に100名超



# 学校事務の採用の一元化

学校事務の採用を知事部局に一元化、新採22名を配置

「行政」と「学校事務」の採用を一元化することで、幅広い人材を確保し、知事部局との異動・交流をさらに広げるとともに、学校事務職員の学校経営への参画を進めます。



# 多様な人材の確保

## 「行政特別枠」「U・Iターン枠」新規採用者が増加

民間企業を志望するような人材を募る「行政特別枠」と、民間企業で多様な経験を積んだ人材を対象とする「U・Iターン採用枠」での新規採用者数は合計34人  
※昨年度から7名増加



年 度	特別枠	U・Iターン	合計
H25.4.1	19人	15人	34人
H24.4.1	14人	13人	27人
H23.4.1	4人	5人	9人
H22.4.1	4人	2人	6人

### 【U・Iターンの主な配置先と経験業種】

- ・危機管理・広報課  
【サービス業の営業企画】
- ・商工課  
【金融機関の債権回収】

# 多様な人材の確保

昨年度に引き続き「JICA枠」 1名を採用

## <目的>

JICAボランティアを通して培われた

- ・ 困難な状況を克服する意欲と情熱
- ・ 柔軟な思考と行動力
- ・ 多様な文化や価値観を理解・容認し、相手との信頼関係を築けるコミュニケーション能力等を有する人材を求め、「JICAボランティア等経験者枠」として採用



## <受験申込み状況> <採用決定者のプロフィール>

22名が応募

JICAボランティア派遣歴

【派遣先】ネパール

【分野】営農支援

【期間】平成22年6月～平成24年6月



# (参考)

## 本庁と現地機関の交流

年 度	実質異動者数 (A)	交流数 (B)	交流数		交流率 (B)/(A)
			本庁→現地	現地→本庁	
H25	9 43人	2 55人	1 39人	1 16人	27.0%
H24	9 46人	2 76人	1 55人	1 21人	29.2%
H23	9 91人	3 04人	1 42人	1 62人	30.7%
H22	1, 080人	3 74人	1 71人	2 03人	34.6%
H21	1, 020人	2 87人	1 48人	1 39人	28.1%



お問い合わせ先

佐賀県 職員課



0952-25-7011



shokuin@pref.saga.lg.jp





<http://www.pref.saga.lg.jp>